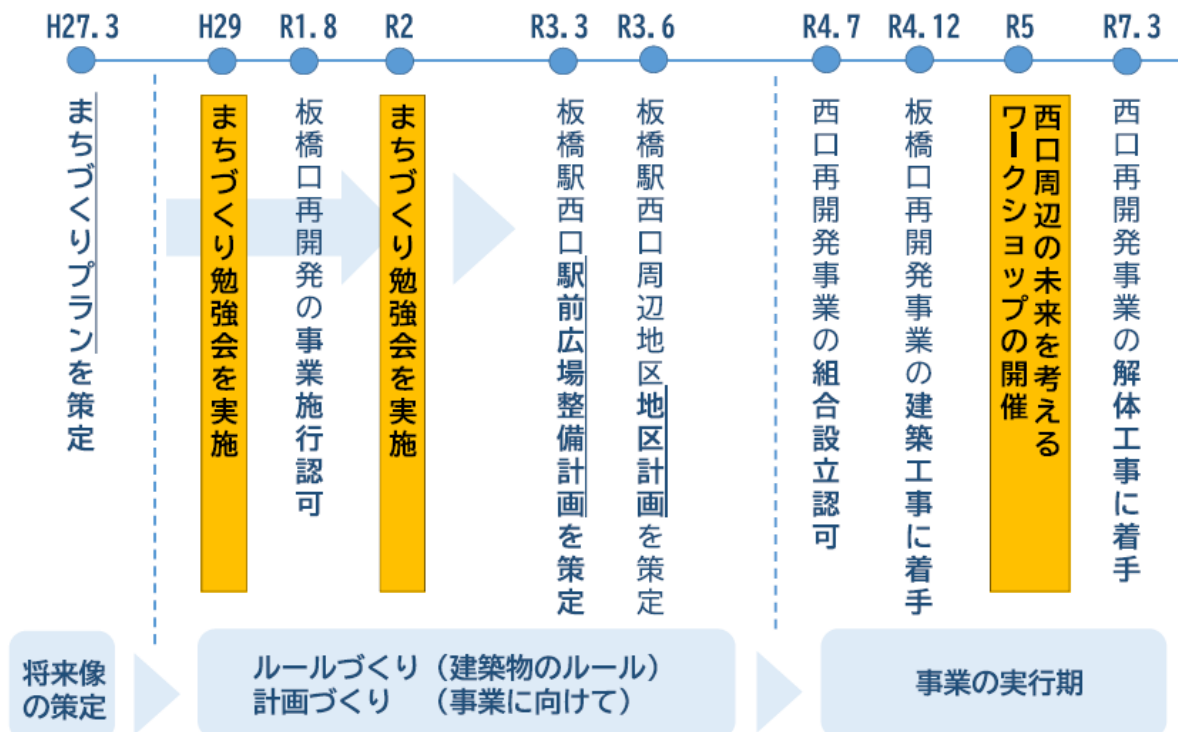


板橋駅西口まちづくりのこれまで



令和5年度までにいただいた主なご意見

交通

- ・3駅の乗換えルートが分かりづらい。
- ・人と自転車の交錯が不安。

設え

- ・花や緑を増やして欲しい。
- ・緑地空間や休憩スペース、イベント空間などが欲しい。
- ・歩道を広げて歩きやすくして欲しい。
- ・車いす、ベビーカー、障がい者にも優しい駅前広場に。
- ・歩きやすさと賑わいの共存

その他

- ・結びのケヤキを生かしたい。
- ・駅前公衆便所は、幼児連れでも使えるように。
- ・喫煙所は撤去してもらいたい。



これまでのまちづくりの経緯やいただいたご意見を踏まえつつ、令和6年度から「駅前広場整備計画の更新」に着手しました。

整備計画更新の理由

コロナ後の社会変化をとらえ、人口減少社会に向けた整備へ

令和3年3月策定の駅前広場整備計画



整備イメージ図

タクシーの利用環境の変化

バスの運行環境の変化

再開発事業の本格化

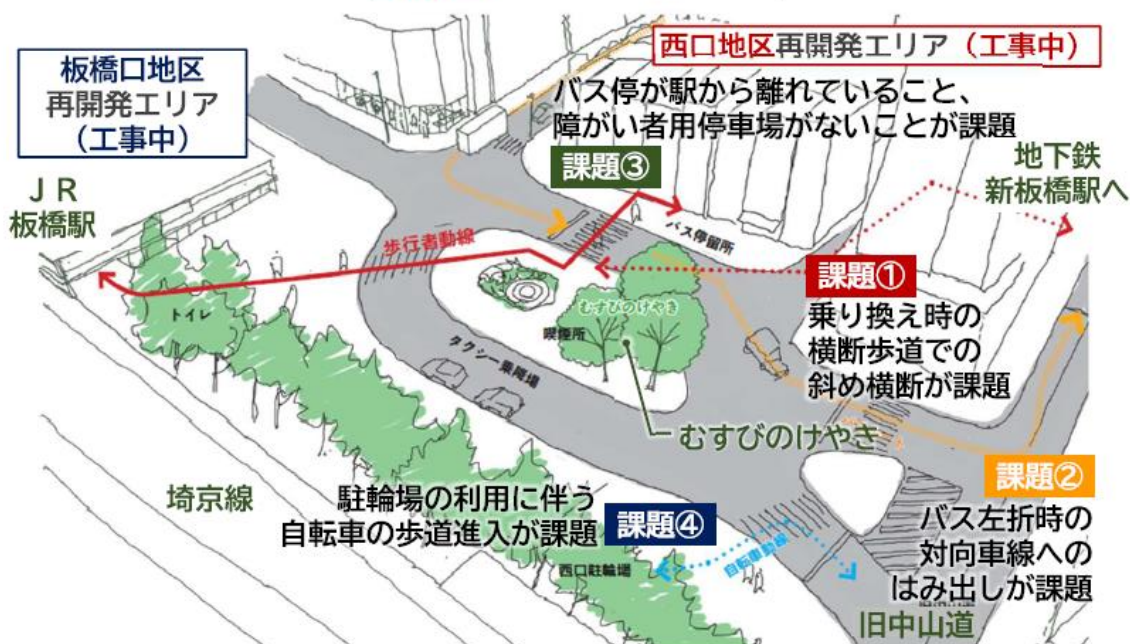
人口減少社会へ

車中心の社会から
人中心の社会へ

「板橋の玄関口」
にふさわしい
歩行者に安全で
魅力ある駅前へ

安全・快適で、魅力あふれる駅前広場へ

現在の駅前広場



歩行者にとって安全・快適で、魅力あふれる駅前広場へ

計画案

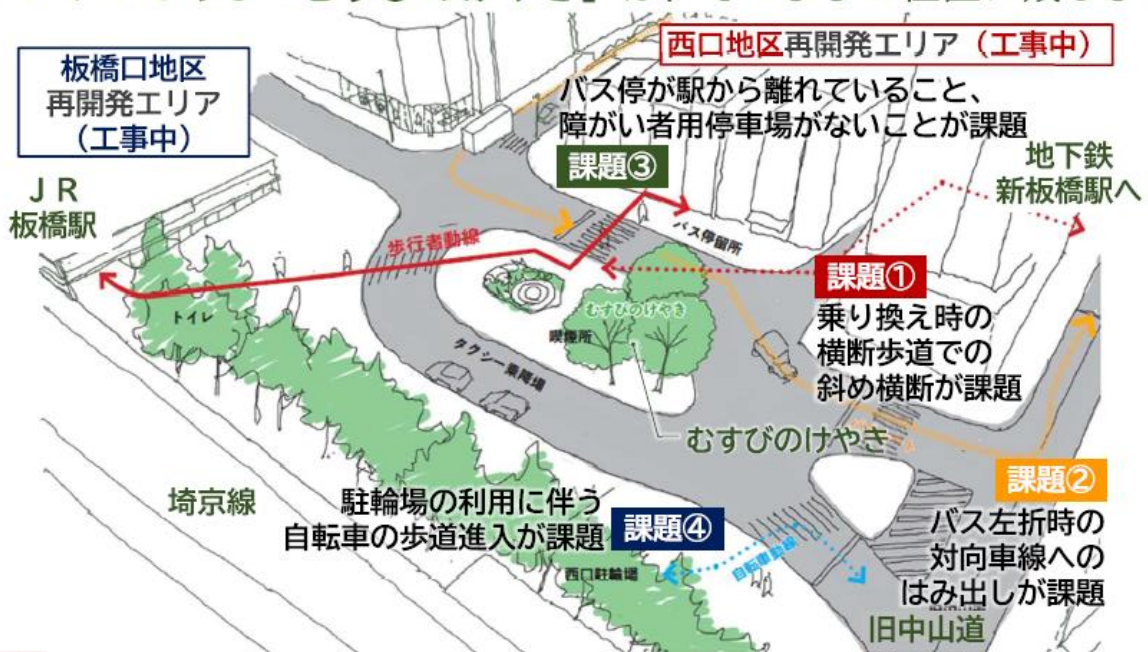
※本年2月時点でのイメージ

車の空間をロータリーに集め、歩行空間と車の空間を分離します。
歩行者にとって安全で、誰もが憩える温かい空間の実現をめざします。



現在の駅前広場の課題

人と車が混在することで生じる安全性の課題等の解決を図ります。
シンボルである「むすびのけやき」は、そのままの位置に残します。



課題① 板橋駅⇨新板橋駅の乗換え時の横断歩道の斜め横断



課題② 旧中山道へのバス左折時の対向車線へのはみ出し



課題③ バス停が駅から離れている
障がい者用駐車場がない



課題④ 駐輪場の利用に伴う
自転車の歩道進入



駅前エリアを「えんのもり」と名付けました



ここ板橋は江戸時代より日本橋から数え
中山道第一宿として栄えてきました。

人々が往来し、人と人が出会い、
様々な「もの」や「こと」が
縁あって結びつくところ。

涼やかな緑とともに人を見守り、
人を清らかにし、人に生気を
与えてくれるところ。

「ここへ来れば、気持ちが晴れる。」
「ここを通ると、気持ちが洗われる。」

板橋の玄関として、

多くの人にそう思われ

慕われていく場所でありたいと思います。



えんのもり
en no mori

令和 9（2027）年度から令和 11（2029）年度にかけて
まちづくりが進む、JR板橋駅前。三駅が近接する好立地を
活かした交通利便性の高い人中心のエリアをめざしています。
「板橋区の玄関口」のリニューアルに向けて、駅前のエリア
全体を「えんのもり」と名付けました。人々が出会う宿場町
としての歴史、縁がつながり新しいものに出会える学びの場、
社のようなみどりいっぱい空間、地域の活動やまちの見守
りといった、このエリアがめざすべき場所のイメージをネー
ミングに込めました。

新しい駅前広場は、車中心から人中心の安全で居心地のよ
い空間へとリニューアルします。豊かなみどりの整備が循環
型社会のシンボルとなり、雨水を地中に浸透させ、内水氾濫
などの都市型災害に対する地域の安全性も高めます。公益エ
リア、ハイレイフプラザ、2つの再開発事業と一体となった
駅前広場が、新旧のコミュニティを次世代につなぎ、「むす
びのけやき」を中心に、活動と活気に溢れる空間となるよう、
商店街、町会、再開発事業者との連携を深めていきます。

えんのもりを「つかう」「まもる」仕組みづくり



えんのもり
スクール
en no mori school

えんのもりの豊かな空間は、まちづくりの事業による「つくる」だけでは成り立ちません。
住民、事業者、町会、商店街、行政など、地域に関わる主体が、空間を「つかう」方法や
「まもる」ための維持管理の新たな仕組みを、皆で考えていきたいと考えています。

「えんのもりスクール」は、まちづくりを実践してきた方による講義やまちあるき、空間
の使い方のワークショップ等による「学びの場」です。学びから得られたヒントをもとに、
えんのもりの使い方や維持管理のあり方を議論していきたいと考えています。

えんのもりは、**まちに関わる人々がまちのことを自分ごとで考え、ともに学び、熟識し、
活動する、そんな広場のような空間をめざします。**



学びの場

=

「まちづくりに関するレクチャー」

「使い方のワークショップ」

「緑のイベント・まちあるき」

店舗前の利用



市民活動の場



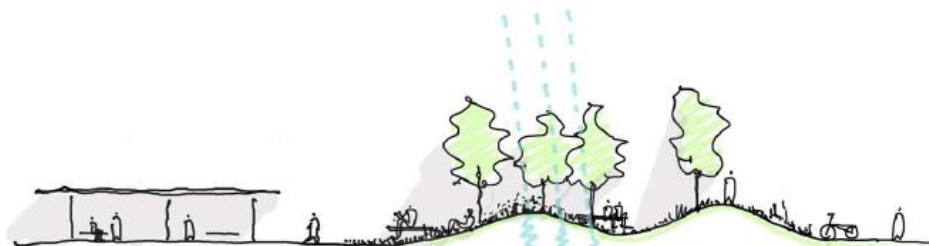
お祭などでの地域連携



ひとつながりの
地域とつながる空間を
みんなで使っていく。

防災・防犯について：安心安全な駅前広場へ

緑の環境整備は、循環型社会のシンボルとなるとともに、
都市型災害（内水氾濫等）に対する対応力を高めることにつながります



- 交通機能

- 雨水の一時貯留機能 = レインガーデン
- 災害時の一時避難スペース = 余白

緊急車両の走行について

当該地区の緊急車両経路としては、消防署が国道沿いにあるため
下板橋通りから旧中山道・グリーンロードを経由するルートが想定されます



地域コミュニティをつなぎ、
地域活動の受け皿となり、人のつながりを育てる場へ

番屋 の設置を計画しています

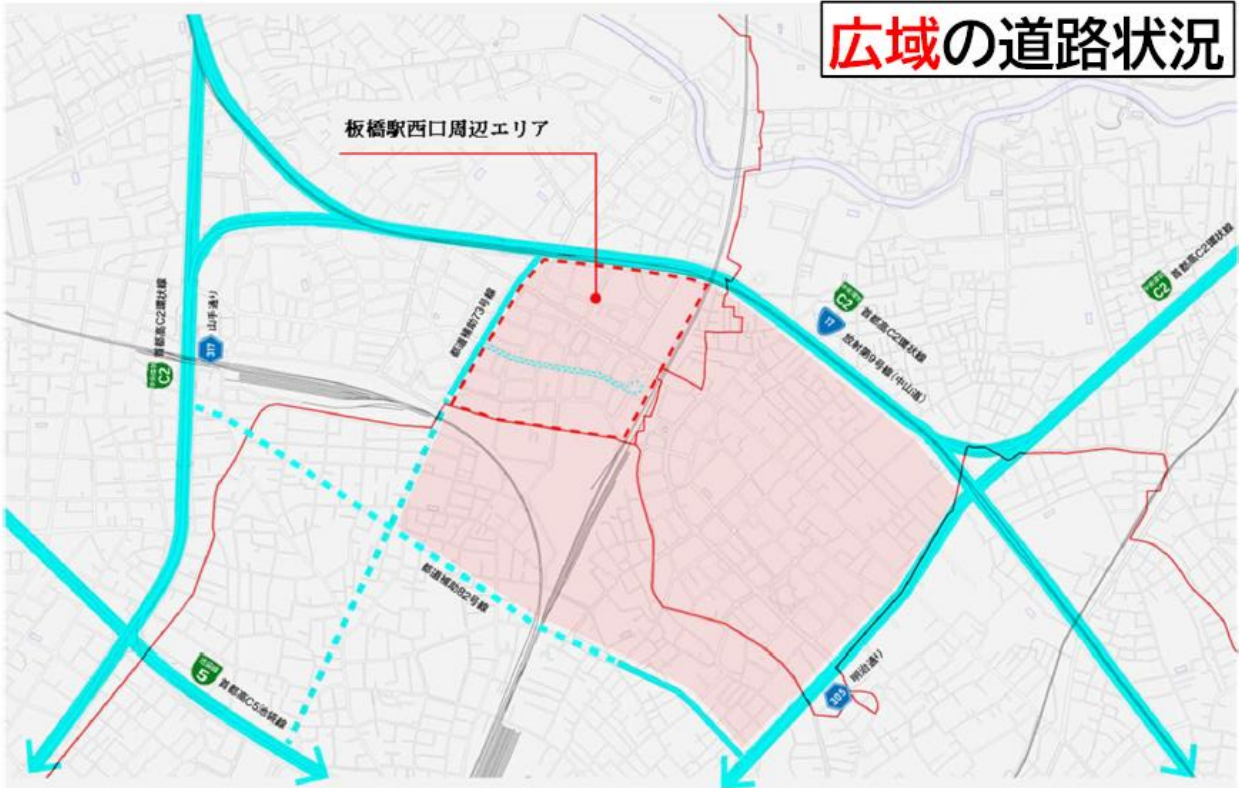
● 番屋の機能

- ・トイレ（管理人用を一般開放）
- ・情報発信機能
- ・地域活動・防災用の倉庫機能
- ・見守り機能



周辺の道路状況について

広域の道路状況



国道17号（中山道）、都道305号（明治通り）、補助73号線、82号に囲まれた地域

狭域の道路状況



現在の駅前広場周辺の自動車交通量



駅前広場としては、自動車交通量は極めて少ない状況です



【自動車】現況交通量

調査日：2024年5月16日（木）4:00～翌4:00



現在のバスルート（王22系統：王子駅行）

王22/22-2系統：王子駅～板橋駅
[国際興業バス]

発着本数 40台／日(平日)

最大発着本数 4台／時(平日の午前7時～8時)



いすゞエルガ 2RG-LV290N (2023 年～)

05				
06	28 ^N	45 ^N		31 ^N 53 ^N
07	01 ^N	18 ^N	34 ^N 49 ^N	15 ^N 37 ^N 59 ^N
08	03 ^N	22 ^N	36 ^N 55 ^N	21 ^N 43 ^N
09	08 ^N	31 ^N	55 ^N	05 ^N 27 ^N 49 ^N
10	17 ^N	39 ^N		11 ^N 33 ^N 55 ^N
11	01 ^N	23 ^N	45 ^N	17 ^N 39 ^N
12	07 ^N	29 ^N	51 ^N	01 ^N 23 ^N 45 ^N
13	13 ^N	35 ^N	57 ^N	07 ^N 31 ^N 55 ^N
14	19 ^N	41 ^N		13 ^N 36 ^N 59 ^N
15	03 ^N	25 ^N	47 ^N	22 ^N 45 ^N
16	10 ^N	31 ^N	52 ^N	04 ^N 25 ^N 47 ^N
17	14 ^N	36 ^N		09 ^N 31 ^N 53 ^N
18	01 ^N	30 ^N		19 ^N 53 ^N
19	03 ^N	39 ^N		26 ^N 56 ^N
20	09 ^N	42 ^N		29 ^N
21				
22				
23				
00				
01				
02				

(2024 年 4 月時点)